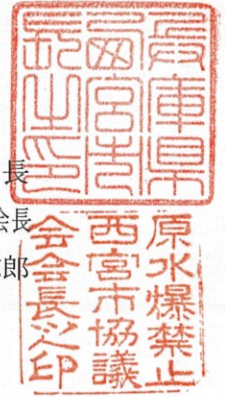


令和6年5月21日
(2024年)

アメリカ合衆国大統領
ジョー・バイデン 閣下
駐日アメリカ合衆国大使
ラーム・エマニュエル 閣下

西宮市長
原水爆禁止西宮市協議会会長
石井 登志郎



核実験に対する抗議

核廃絶への機運が国際的に高まる中、貴国が令和6年（2024年）5月14日に核実験を実施したことについて、核兵器の廃絶と世界恒久平和を願う平和非核都市・西宮の市民を代表して、厳重に抗議する。

核軍縮に向けた大きな流れに逆行した今回の核実験は、国際社会の平和に向けた努力を踏みにじるだけでなく、他国に対しても不安を助長し、軍備拡張や新たな核拡散を再燃させる恐れもあり大いに懸念される。

世界最初の被爆国民として、原子爆弾による惨禍を体験した我々は、「いかなる国の核実験も認めず、どのような場合も核兵器を使用せず、一切の核兵器が廃絶される」ことを切望する。

貴国が、現在も放射能による後障害に苦しんでいる原爆被害者をはじめ世界平和を願う全ての人々の声に耳を傾け、国際社会の一員として世界の恒久平和実現に寄与するよう要望する。